

平成13年度海洋地球研究船「みらい」研究課題および乗船研究者の公募について

海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）は、海洋地球研究船「みらい」の共同利用型の運用を行うにあたり、平成13年度の「みらい」の航海において実施する研究課題および乗船研究者を下記のとおり募集します。

「みらい」の機能を効果的・効率的に利用して優れた成果を導き出すため、海洋科学技術センターは「みらい」を利用して実施する研究課題および乗船研究者を国内外から公募し、科学的に優れた研究課題を「みらい」運用検討委員会（委員長：半田暢彦愛知県立大学教授）による厳正な審査により採択し、これに基づき運用を行っています。

今回の公募は、平成13年度「みらい」運航計画（別紙参照）に記載されている平成13年5月から平成14年4月までの研究航海について、研究課題および乗船研究者を国内外から募集するもので、長期的展望に基づいた海洋科学の基盤の拡充への貢献などを配慮して、運用計画の立案を行うこととしています。

平成13年度においては、例年の北西部太平洋や西部熱帯太平洋海域などに加え、東部北太平洋亜寒帯海域およびインド洋内にて観測を行います。

記

1. 募集内容

平成13年度に実施する6回の航海毎に、各航海で実施可能な研究課題および乗船研究者

2. 募集期間

平成12年6月29日（木）～7月31日（月）

（応募書類は平成12年7月31日（月）消印有効）

3. 運航計画及び海域

平成13年度「みらい」運航計画（[別紙1](#)）及び観測海域図（[別紙2](#)）を参照

4. 応募資格

（イ）国内の研究機関、大学その他に所属する国内の研究者等

（ロ）国外からの応募については、国内の研究機関と共同の応募（研究機関の者）で申込できる
国外の研究者

5. 募集人数

各航海とも28名程度

6. 募集及び選考方法

募集案内は国内の大学、研究機関（民間含む）、関係学会に広く配布します。また、インターネット上においても募集します。応募のあった課題および乗船研究者については、海洋科学技術センターの「みらい」運用検討委員会（委員長：半田暢彦愛知県立大学教授）にて審査を行い、8月下旬に採否を決定する予定です。

本件問い合わせ先

海洋科学技術センター研究業務部計画調整課 中村、石黒

電話 (0468) 67-3938
 ファクシミリ (0468) 67-3947
 E-MAIL support@jamstec.go.jp

海洋科学技術センタ-総務部普及広報課 他谷、木村

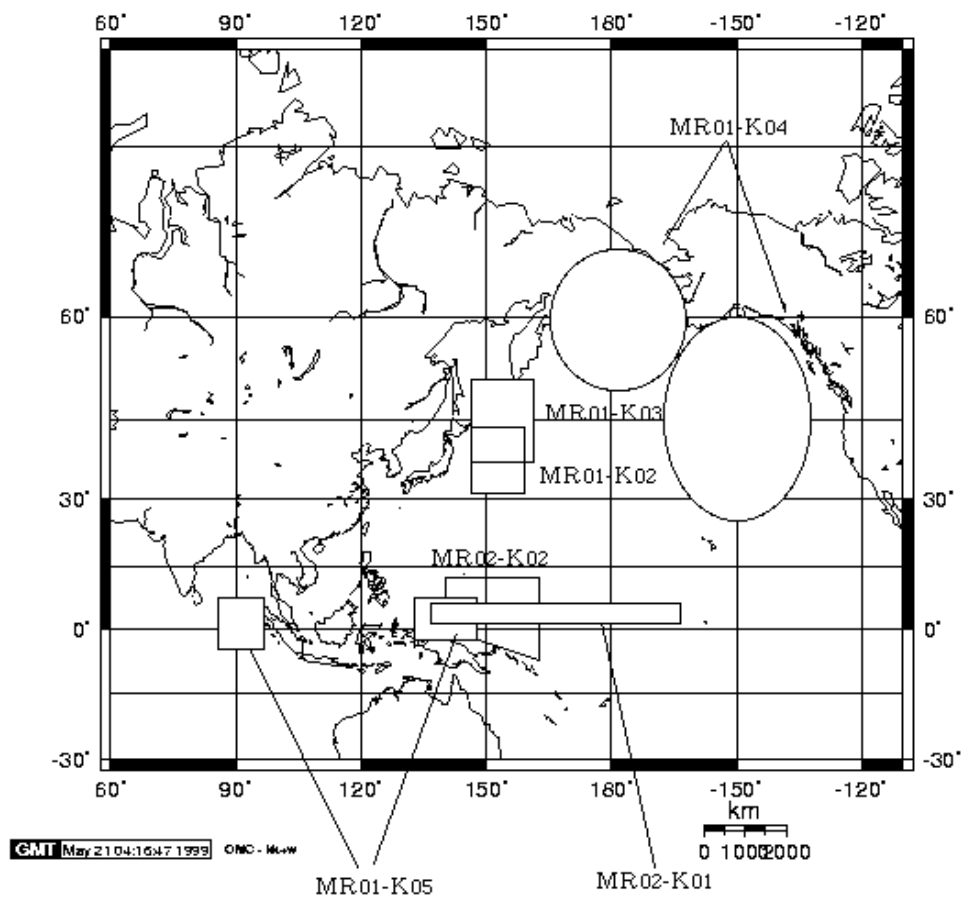
電話 (0468) 67-3806
 ファクシミリ (0468) 65-8810
 ホームページアドレス

<http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/whatsnew/mirai13/index.html>

平成13年度「みらい」運航計画

平成12年4月27日現在

航海番号	主要研究課題	観測の目的、概要	主たる海域	航海期間 (日数)	寄港地	調査主任予定者 (航海計画問合先)
MR01-K02	北太平洋亜熱帯・亜寒帯 循環系の変動に関する 観測研究	黒潮流流域の水塊構造及び 中規模現象の動態を解明 するためCTD観測等を行う	本州東方海域	平成13年 5.14～ 平成13年 5.28 (15日)	横浜 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 吉川 泰司 (吉川 泰司)
MR01-K03	高緯度海域における 物質循環研究	炭素及びそれに関連した 物質の挙動、環境への影響 解明のため、採水採泥等の 生物地球化学的な観測	北西部北太平洋 及びオホーツク 海	平成13年 6.06～ 平成13年 7.19 (44日)	関根浜 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 日下部 正志 (日下部 正志)
MR01-K04	北極・亜寒帯海域の観測研究	気候変動の解明のため北極 海へ流入する海水の変化を 把握しCTD、LADCP海洋 レーザを主力とする観測	東部北太平洋 亜寒帯海域・ チュクチ海、 ベーリング海	平成13年 7.26～ 平成13年 9.11 (48日)	関根浜 スワード 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 深澤 理郎 (深澤 理郎)
MR01-K05	西部熱帯太平洋・インド洋 の観測研究及び大気-海洋 相互作用に係る観測研究	トライトンブイのデータを 中心とする混合層の熱、水 運動量収支、ドップラーレ ーダー等による降雨システ ムとその場環境の連続観測	西部熱帯太平洋 海域、東部 インド洋海域	平成13年 9.18～ 平成13年 12.19 (93日)	関根浜 シンガポール ジャカルタ パラオ 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 未定 (水野憲介、米山邦夫)
MR02-K01	赤道域における基礎 生産力観測研究	植物プランクトンが炭素循環 に果たす役割の解明のため、 海洋表層の基礎生産力、 植物色素濃度等を計測する	西部熱帯 太平洋海域	平成14年 1.06～ 平成14年 2.15 (41日)	関根浜 ホノルル グアム 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 河野 健 (河野 健)
MR02-K02	西部熱帯太平洋の観測研究	モンスーン変動やエルニー ニョの解明のためトライトン ブイのデータを中心とした 混合層の熱・水収支等の観測	西部熱帯 太平洋海域	平成14年 2.21～ 平成14年 4.05 (44日)	関根浜 グアム 関根浜	海洋科学技術センタ- 海洋観測研究部 未定 (黒田芳史、安藤健太郎)



MR01-K02	北太平洋亜熱帯・亜寒帯循環系の変動に関する観測研究	(15日)
MR01-K03	高緯度域における物質循環研究	(44日)
MR01-K04	北極・亜寒帯海域の観測研究	(48日)
MR01-K05	西部熱帯太平洋・インド洋の観測研究 大気-海洋相互作用に係る観測研究	(93日)
MR02-K01	赤道域における基礎生産力観測研究 (41日)	(41日)
MR02-K02	西部熱帯太平洋の観測研究 (44日)	(44日)